

(第56回)

受付
番号 61

(1) 企業の部

ふりがな	かんしょうきのうぱっけーじ		
作品の名称	緩衝機能パッケージ		
ふりがな	あさひんさつかぶしきかいしゃ	ふりがな	おいだ てつお
会社名	朝日印刷 株式会社	発明者名	老田 哲夫
特許・実用・意匠 の出願状況	■出願済み	出願・公開番号	登録番号
			特願 2016-149619
特許・実用・意匠 の出願状況			
特徴と要点 (必ずご記入下さい)			
【発明の背景】			
医薬品パッケージは、包装、保管、流通過程を経て使用する方々に届けられています。			
ガラス製容器を使用している医薬品パッケージに於いては、振動や落下などの衝撃から			
ガラス製容器の破損を防ぐ工夫を施した緩衝機能パッケージが求められています。			
【特徴】			
① パッケージを組み立てると所定の位置に緩衝用中仕切りが形成されます。			
② 緩衝用中仕切りは内容物の前後左右と底面の5方向に空間を設けています。(写真2.)			
③ パッケージの底面には2本の底上げ部を形成することにより(写真3.図1.)高い緩衝性と内容物の安定性を実現しました。(通常底面には1本の底上げ部を使用しています)			
④ 開封時の衝撃からガラス容器を守るためのカバーフラップを配置しています。(写真4.)			
⑤ この緩衝機能パッケージは、全自動包装機械対応が可能です。			

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)



写真1. 緩衝機能パッケージとガラス容器

前後左右と底面の5方向に緩衝用の空間

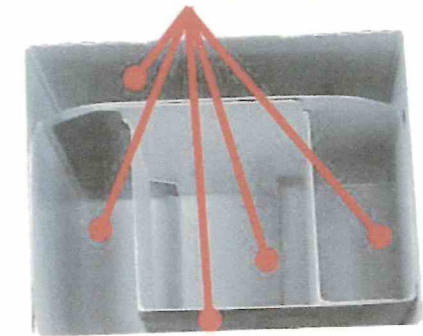


写真2. 製函時の緩衝用中仕切り

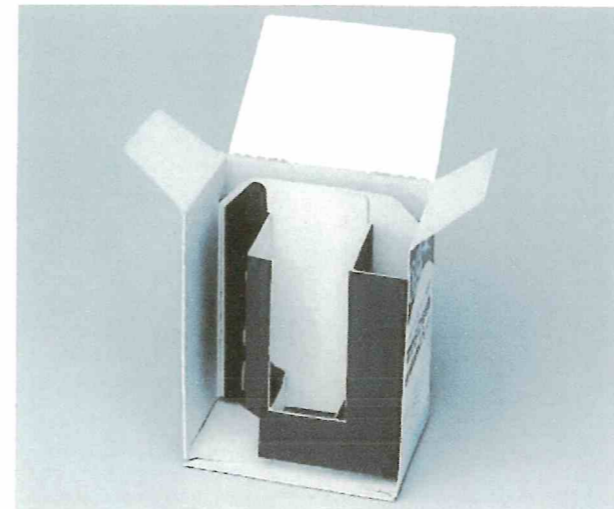


写真3. 緩衝用中仕切りの内部

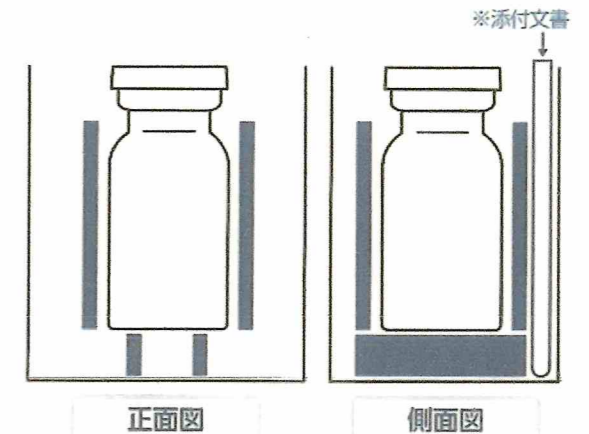


図1. 緩衝用中仕切りの断面図

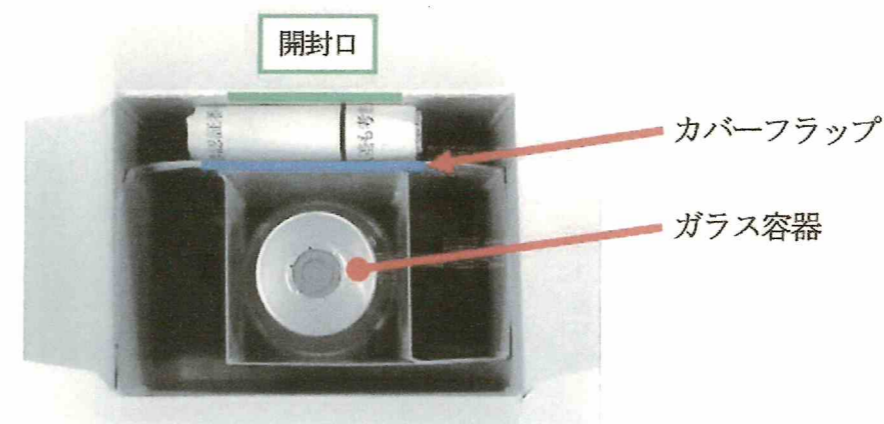


写真4. 緩衝用中仕切りの内部

記載注意事項

1. 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
2. 従来のも(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面(略図でよい)でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。